

職住前寺陽球院王仁山ゴザ 照龍 依帰



（次男腹へ分家）
以降のとき、天・
地・仁（水）を表
現するため、チャ

今年はユンチチ（旧暦の閏月）がある。先日、大御所のユタの先生の訪問を受け、「最近の沖繩は、昔のユンチチと今のユンチチを混同している」とのお話をうかがった。多分、昔のユンチチ＝閏月（○）、今のユンチチ＝閏年（×）のことであろう。数理的環境に富む沖繩は、民間祭祀の儀式・法要でも数字の恩恵を受けている。ウチカビ（打紙）はチャクシバラ（嫡子腹へ本家）のとき、天・地・仁（水）・イチミ（この世）・グソー（あの世）を表現するため、グマングワン（五万貫文）＝1束・5枚となり、シナンバラ

ユンチチあれこれ 東風

クシバラに畏敬して、サンマングワン（三万貫文）＝1束・3枚となることがある。このような数字の適切な判断により、ムンチュウ（門中）・チーシジ（血筋）が同じでも生活環境・思想、嗜好などが異なる家族・親族が、大切な儀式・法要にあつて、心を一つにすることができる。ユンチチとは数字に置き換えると、19年に7回ある閏月の旧暦13カ月間のことであり、4年に1回ある閏年の新暦2月29日のことではない。今年、旧暦はシングワチターチャー（4月が2回）であるから、5月23日（旧暦閏4月）

1日）から6月20日（旧暦閏4月29日）の1カ月間のみが、本来のユンチチである。しかし、このような「学問的ユンチチ」ばかりでは、今年1年間はユンチチであると宣伝する、お仏壇やお墓の販売など「商業的ユンチチ」の期間が短くなり、商売が成り立たないとの意見も耳にする。ユンチチは閏月の1カ月間か？ 閏年の1年間か？ あえて答えを出さないことも、時には必要なのであろう。 昨今、沖繩では、閏月と閏年、どちらもユンチチと解釈される、寛容な時代を迎えようとしている。

1968年生まれ、岡山県出身。岡山大学大学院博士課程単位取得、中央仏教学院研究科卒。専門は宗教哲学。沖繩県宗教学研究会理事長。娘1人と息子3人。ゴザ山仁王院球陽寺前住職。2005年7～12月に「南風」執筆。